

平成29年度9月補正予算の概要

1 補正予算の編成の考え方

今回の補正予算については、復興・再生に向け直面する課題に対応するために必要な経費など緊急に措置すべき予算を計上した。

2 一般会計補正予算（第3号）の概要

（1）補正予算の規模

歳入については、市税、地方交付税、国県支出金、繰入金、繰越金などを計上し、歳出は上記の考え方にに基づき計上した。

この結果、補正額 3,698,683 千円を追加し、補正後の一般会計歳入歳出総額が 63,585,577 千円となった。

（2）主な補正内容

最重点方針1 復興事業の優先的実施	
災害に強い都市基盤の整備 防災集団移転関連道路整備事業（P24） （地域コミュニティの再構築を図るため、防災集団移転団地を連絡する道路を整備（用地取得費等を増額））	4,000千円
災害に強い都市基盤の整備 過年発生単独災害復旧事業（河川施設）（P26） （準用河川渋佐川の復旧に向けて測量設計を実施）	7,000千円
産業の再生と振興 福島県営農再開支援事業補助金（P18） （営農再開を目的とする農業者の各種取り組みを支援（追加実施分等を増額））	80,186千円
産業の再生と振興 農山村地域復興基盤総合整備事業負担金（P20） （県営農山村地域復興基盤総合整備事業に対し負担金を拠出（工事費等の変更に伴う増額））	30,313千円

<p>産業の再生と振興</p> <p>鳥獣被害防止緊急対策事業（鹿島区）(P20) （有害鳥獣の被害防止に向けて撃退用器具としてロケット花火をモデル的に導入）</p>	<p>409千円</p>
<p>産業の再生と振興</p> <p>集客力を高めるイベント事業補助金（P20） （原子力発電所事故により被災した事業者及び市民の帰還促進を図るため、商店会等が実施する集客効果を高め、市内の消費を喚起するイベントを支援（10月以降の実施分を増額））</p>	<p>12,000千円</p>
<p>その他</p> <p>メモリアルパーク整備事業（P24） （東日本大震災の犠牲者への追悼と震災記憶の伝承のために、原町区北泉地区に広場を整備）</p>	<p>132,500千円</p>

最重点方針2 旧避難指示区域の再生	
<p>生活環境の整備</p> <p>鮭繁殖事業補助金（小高区）(P18) （鮭の繁殖事業を再開する小高鮭繁殖組合の稚魚放流事業を支援）</p>	<p>24千円</p>
<p>生活環境の整備</p> <p>スマートインターチェンジ整備事業（P24） （小高区における常磐道スマートインターチェンジ整備促進に向けて追加調査を実施）</p>	<p>7,060千円</p>
<p>生活環境の整備</p> <p>市営住宅生活環境整備事業（小高区）(P24） （新紅梅団地の外壁の修繕工事を実施）</p>	<p>109,059千円</p>
<p>生活環境の整備</p> <p>過年発生単独災害復旧事業（河川施設）(小高区）(P26） （関場地区の用悪水路の修繕に向けて測量設計を実施）</p>	<p>1,037千円</p>

<p>復興拠点施設を核とした賑わいの創出</p> <p>小高区復興拠点整備事業（P16） （多世代の交流による賑わいを小高区に取り戻すとともに、地域の活性化を図り、小高の復興・再生を実現するため、復興拠点を整備）</p>	<p>1,475,692千円</p>
<p>コミュニティ再生支援</p> <p>集会施設整備事業補助金（小高区）（P12） （活力と魅力ある行政区の維持及び発展のため、集会施設等の新築・改修及びコミュニティ維持に必要な備品の整備を支援）</p>	<p>12,191千円</p>

重点方針1 地域の絆づくりと安心生活の再生	
<p>高齢者が健康で生きがいをもって生活できる環境の整備</p> <p>老人福祉センター建設事業（原町区）（P16） （原町老人福祉センターの移転新築に向けて、実施設計等を実施）</p>	<p>146,172千円</p>
<p>地域コミュニティの再生と新たな地域の絆の形成</p> <p>集会施設整備事業補助金 2事業（P12、14） （活力と魅力ある行政区の維持及び発展のため、集会施設等の新築・改修及びコミュニティ維持に必要な備品の整備を支援）</p>	<p>42,461千円</p>
<p>公共交通の充実</p> <p>総合交通体系再構築事業（P16） （定額タクシー事業を実施する南相馬市公共交通活性化協議会に負担金を支出）</p>	<p>9,138千円</p>
<p>その他</p> <p>南相馬チャンネル整備事業（P14） （原町区における視聴エリアの拡大に向けて送信設備を整備）</p>	<p>147,280千円</p>

重点方針3 若い世代の定住の促進

移住・定住の促進

子育て等世帯定住促進事業（P24）

（子育て世帯等の定住を促進するため、民間賃貸住宅に入居又は住宅を取得した子育て世帯等に奨励金を支給（申請件数の増加に伴う増額））

30,000千円

その他緊急的対応

県立特別支援学校整備事業（P12）

（鹿島区に移転新築となる県立相馬支援学校の敷地造成工事を実施）

53,680千円

復興まちづくり推進事業（P14）

（避難指示解除後の状況を踏まえた新たな人口予測を実施）

3,240千円

有害鳥獣焼却施設整備事業（P16）

（駆除された有害鳥獣の専用焼却施設整備に向けて用地測量設計等を実施）

7,499千円

道路維持管理事業（原町区）（P22）

（平成30年春の全国植樹祭式典開催に向けて道路環境改善を実施など）

253,187千円

新原ノ町駅前広場整備事業（P22）

（JR原ノ町駅前広場の整備に向けて測量設計を実施）

7,982千円

新は新規事業

(3) 継続費の補正

(追加)

(単位：千円)

款	項	事業名	総額	年度	年割額
2 総務費	1 総務管理費	県立特別支援学校整備事業	108,645	平成29年度	54,958
				平成30年度	53,687
8 土木費	6 東日本大震災土木対策費	メモリアルパーク整備事業	265,000	平成29年度	132,500
				平成30年度	132,500

(4) 債務負担行為の補正

(追加)

(単位：千円)

事項	期間	限度額
野馬追通り銘醸館指定管理料	平成30年度から平成34年度まで	指定管理者との協定により締結する額
押釜地区創設非農用地取得金 (大木戸押釜高倉線外)	平成30年度	1,839
原町東地区創設非農用地取得金 (準用河川北原川)	平成30年度から平成32年度まで	25,329
八沢地区(第2換地区)創設非農用地取得金(2-8号線)	平成30年度から平成32年度まで	1,976
原町東地区創設非農用地取得金 (市道萱浜零線外)	平成30年度から平成32年度まで	1,929

(5) 地方債の補正

(追加)

(単位：千円)

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
20 原ノ町駅前広場整備事業	3,100	証書借入 又は 証券発行	年3.0%以内 (ただし、利率見直し方式で借り入れる資金については、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	融資条件の定めのある資金については、その融資条件により、その他の資金については相手方との協定によるものとする。 ただし、繰上償還をし、償還年限を短縮し、又は低利債に借り換えることができるものとする。

(変更)

(単位：千円)

起債の目的	補正前				補正後			
	限度額	起債の方法	利率	償還の方法	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
2 老人福祉センター建設事業	16,200	-	-	-	155,000	-	-	-
5 常磐自動車道整備促進事業	29,000	-	-	-	46,800	-	-	-
17 臨時財政対策債	1,100,000	-	-	-	849,429	-	-	-
19 小高区復興拠点整備事業	5,800	-	-	-	149,800	-	-	-

【参考】主な基金の状況

財政調整基金

(単位：千円)

H 28末残高	積立額			取崩額			H 29末残高 見込み
	補正前	今回	補正後	補正前	今回	補正後	
4,639,811	300,034	0	300,034	1,146,436	291,047	1,437,483	3,502,362

減債基金

(単位：千円)

H 28末残高	積立額			取崩額			H 29末残高 見込み
	補正前	今回	補正後	補正前	今回	補正後	
3,108,917	7	456,000	456,007	0	0	0	3,564,924

東日本大震災復旧・復興基金

(単位：千円)

H 28末残高	積立額			取崩額			H 29末残高 見込み
	補正前	今回	補正後	補正前	今回	補正後	
11,985,115	377,200	479,814	857,014	2,287,784	167,747	2,455,531	10,386,598

東日本大震災復興交付金基金

(単位：千円)

H 28末残高	積立額			取崩額			H 29末残高 見込み
	補正前	今回	補正後	補正前	今回	補正後	
8,606,805	89	29,991	30,080	752,700	153,941	906,641	7,730,244

3 特別会計 補正予算の概要（3会計）

国民健康保険特別会計（補正第2号）

平成30年4月からの国保広域化対応に係る経費などの補正を行うもので、補正額4,569千円を追加し、補正後の歳入歳出総額が12,549,770千円となった。

介護保険特別会計（補正第1号）

平成28年度決算に伴う国県等への返還金などの補正を行うもので、補正額200,040千円を追加し、補正後の歳入歳出総額が7,095,469千円となった。

後期高齢者医療特別会計（補正第2号）

福島県後期高齢者医療保険料の減免に関する条例の改正により、保険料の減免が決定されたことに伴い後期高齢者医療保険料などの補正を行うもので、補正額373,223千円を減額し、補正後の歳入歳出総額が394,996千円となった。

4 企業会計 補正予算の概要（4会計）

水道事業会計（補正第1号）

資本的支出は、市道北町9号線道路改良舗装工事と同時施工の配水管敷設工事など原町水道事業における建設改良費を増額するもので、補正額21,030千円を追加し、補正後の支出総額が928,592千円となった。

病院事業会計（補正第1号）

収益的支出は、総合病院における消費税経理に伴う雑損失の補正を行うもので、補正額4,214千円を追加し、補正後の支出総額が5,465,169千円となった。

資本的支出は、総合病院における人工透析診療開始に向けた診察室改修工事や医療機器購入に係る建設改良費の補正を行うもので、補正額65,000千円を追加し、補正後の支出総額が1,009,362千円となった。

工業用水道事業会計（補正第1号）

収益的支出は、配水管路流量等解析業務に係る経費などの補正を行うもので、補正額4,803千円を追加し、補正後の支出総額が357,091千円となった。

資本的支出は、牛来浄水場における凝集監視装置システム設置に係る建設改良費の補正を行うもので、補正額2,020千円を追加し、補正後の支出総額が114,665千円となった。

下水道事業会計（補正第1号）

収益的支出は、県の災害復旧工事に伴い売却した土地に係る固定資産売却損の補正を行うもので、補正額8,459円を追加し、補正後の支出総額が1,596,786千円となった。